

日本政策金融公庫

農林水産事業のご案内

2019



Contents

2	ごあいさつ
3	日本政策金融公庫の概要
4	農林水産事業の概要
5	融資の状況と特徴
5	農業分野
6	林業分野
7	漁業分野
8	加工流通分野
9	セーフティネット機能の発揮
10	6次産業化・輸出支援
11	新規就農・農業参入支援
13	事業性評価の推進
15	多様な経営支援サービスの提供
17	農林漁業分野における民間金融機関連携の推進
19	融資制度
19	事業目的別にみた主な融資制度
21	実績資料
22	店舗地図

(注)本誌の計数について

1. 単位未満の計数
金額の単位未満は切り捨て、比率(%)は表示前桁を四捨五入しています。したがって、合計欄の計数は、内訳を集計した計数と一致しないものがあります。
2. 表示方法
単位に満たない場合は「0」と、該当数字のない場合は「—」と表示しています。

日本政策金融公庫(日本公庫)農林水産事業に対する皆さまの日頃からのご理解とご協力に心からお礼申し上げます。

日本公庫農林水産事業は、国の施策に沿って、農林水産業・食品産業に携わる皆さまの経営発展の支援や自然災害の影響などに対するセーフティネット機能の発揮のため、長期の融資を行うとともに、多様な経営支援サービスの提供などを進めています。

昨年度は、東日本大震災や熊本地震からの復興支援に加え、7月豪雨や北海道胆振東部地震などの災害などのセーフティネット需要へきめ細かに対応いたしました。また、農業分野においては構造変化などを背景として拡大する担い手の攻めの経営展開への取組みを、林業分野においては国産材の安定的・効率的な供給体制の構築や需要拡大に向けた取組みを、漁業分野においては漁船漁業の構造改革などに資する先駆的な取組みを、そして加工流通分野においては国産農畜水産物の利用拡大や事業の高度化・合理化に向けた取組みを、将来における事業性の評価に力点を置いて、民間金融機関との連携・協調を図りながら、積極的に支援してまいりました。

また、資金面のほか、お客さまの経営課題や多様化する地域のニーズにお応えするため、国産農産物・食品の展示商談会「アグリフードEXPO」などによる販路開拓支援、農業・林業・水産業の経営アドバイザーによる相談対応や輸出・海外展開へのサポート、「AFCフォーラム」や各種レポートをはじめとした情報提供などの経営支援サービスを提供しており、ご好評を得ております。

今年は、平成の時代から令和の時代へと進む節目の年であり、また昨年、創設10周年を迎えた日本公庫にとって、新たな10年のスタートの年でもあります。

人口減少、グローバル化の進展、デジタル革命などに



より、社会や産業構造が急激に変化する中、農林水産業が将来にわたって持続的に発展していくためには、農林水産業の成長産業化に向けた制度改革を踏まえて、新技術を導入しながら生産性の向上を図るとともに、新陳代謝を促進しつつ事業や経営資源を承継していくことが不可欠です。

このため、日本公庫農林水産事業は、時代の変化に的確に対応すべく、事業承継の支援を強化するとともに、スマート農林水産業などの新たな動きを把握して目利き力を高めながら、お客さまと経営課題を共有し一緒になって課題解決に取り組み、融資をはじめとするさまざまなツールで、日本の農林水産業・食品産業を支えるお客さまを積極的に支援してまいります。

私どもは、これからも、「現場本位」をモットーに、お客さまの未来をともに考え、農林水産分野への融資に取り組んでいる民間金融機関をはじめ、各都道府県で関係する皆さまとの連携を一層密にしながら、農林水産業・食品産業の成長と持続的発展に貢献できるよう努めてまいりますので、さらなるご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

株式会社日本政策金融公庫
農林水産事業本部長 **新井 毅**